

富岡製糸場解説員の会

代表者 関 利行

所在地 〒370-2316 群馬県富岡市富岡 1 番地 1

設立年月日 平成 19 年 4 月 16 日

URL <http://www2.city.tomioka.lg.jp/worldheritage/index.shtml>

【設立趣旨】

群馬県西部に位置する富岡市は、昔から養蚕が盛んなことで知られていました。明治政府初の官営模範工場・富岡製糸場が創業したのは明治 5 年の時のことです。周辺の養蚕農家から良質な繭を豊富に手に入れられることが、富岡を建設地に選んだ理由の一つでした。工場は昭和 62 年に操業を終えたものの、歴代経営者が大切に受け継いだ創業当時の建物は今も残り、日本近代産業の黎明を伝えています。最後の所有者であった片倉工業(株)の管理時代に、市の観光事業の一環として有志による外観解説案内がスタート。その後平成 17 年に管理が富岡市に移されてからは、富岡製糸場の貴重な建物を後世に残すために、世界遺産への登録活動を推進しています。登録活動の一步として、それまで個人の自己研修に頼っていた解説内容を一本化し、会として統一した内容を共有できるよう「富岡製糸場解説員の会」を設立。解説によるおもてなしを通し、見学者により多くの感動を与え、富岡製糸場および富岡市を世界遺産に相応しい地にするため、真摯に活動に取り組んでいます。

【沿革】

昭和 62 年 片倉工業(株)富岡工場（以降「富岡製糸場」）操業停止
平成 8 年 退職校長会富岡甘楽支部の会員による有志 18 名によって、夏季のみ外観解説事業が始まる
平成 15 年 春のゴールデンウィーク期間に解説事業実施
平成 16 年 団体等の申し込みにも対応を始める
平成 17 年 9 月 片倉工業(株)より富岡市へ、富岡製糸場の建造物を寄贈。翌 10 月から市による管理開始
平成 17 年 12 月 毎週土・日・祝日の定時解説を実施
平成 18 年 11 月 平日にも定時解説を実施
平成 19 年 1 月 「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産暫定一覧へ記載
平成 19 年 4 月 16 日 「富岡製糸場解説員の会」設立。会員 56 名
平成 21 年現在 役員 6 名・監事 2 名・理事 8 名・顧問 1 名を含む会員計 94 名にて活動中

【活動目的】

富岡製糸場に関する文化的歴史的価値や情報を共有し、解説員相互の資質の向上をはかる。

また、解説員同士の絆を深めながら解説事業にあたる。

【活動内容】

- ①見学者に対して富岡製糸場についての解説を行う。
- ②会員の富岡製糸場に関する研修、見学会の開催を行う。
- ③ユネスコの世界遺産登録に向けて啓発活動の推進に努める。
- ④会員増強を図るとともに会員相互の親睦を深める事業の開催を行う。
- ⑤その他本会の目的達成のため関連する団体・機関と連携して必要な事業を行う。



1. 富岡製糸場



2. 見学者と解説員



3. 解説勉強会



4. 視察研修

【活動上の課題と今後の展望】

世界遺産暫定一覧に記載されたことによって、富岡製糸場には多くの見学者が訪れるようになりました。世界遺産ブームとともに高まる見学者の意識にどう訴えるか、世界遺産候補として納得してもらえる解説案内を、会員の中で統一して作り上げていくことが主な課題になっています。また世界遺産登録に向けて、外国人の見学者に対する外国語解説の充実も必要とされています。世界的な視野に立ち、富岡製糸場が国際社会の中でどのような役割を担ったのか、日本を代表する産業遺産として多くのお客様にPRしていくことが我々の目標です。